

無縁社会を乗り越えて、 ～北九州で生まれた「縁」と「絆」が、

新しい有縁社会、隣人の時代を
つくらなければなりません。



株式会社サンレー
代表取締役社長 佐久間 廣和氏

支え合いの風土がある 北九州を高齢者の先進都市に

「日本は、高齢社会に突如として直面している。高齢化の進行は、日本社会の大きな課題である。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」



90歳以上の高齢者が「サークル」に参加する様子。

から支え合いの風土がある

「日本は、高齢社会に突如として直面している。高齢化の進行は、日本社会の大きな課題である。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」



北九州小倉北地区に建設されたサンレー小倉北地区センター。

助け合いの互助社会を創造

「助け合いの互助社会を創造する。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」



小倉南地区の「サンレー小倉南地区センター」。

助け合いの互助社会を創造

「助け合いの互助社会を創造する。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」

隣人の時代へ これからの日本を変える～

サンレー創立45周年記念対談

株式会社サンレー 代表取締役社長 佐久間 廣和氏 × NPO法人北九州ホームレス支援機構 理事長 奥田 知志氏

隣人というのは、
重荷を負ってくれる人です。



NPO法人北九州ホームレス支援機構
理事長 奥田 知志氏

「初代、お二人の重荷を背負って、45年を歩んでこられた。サンレーの歴史は、隣人を支える社会をつくるための歩みである。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」



小倉南地区の「サンレー小倉南地区センター」。



小倉南地区の「サンレー小倉南地区センター」。

ハラスメントをなくす

「ハラスメントをなくす。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」

心ゆたかな隣人の時代へ

「心ゆたかな隣人の時代へ。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」



小倉南地区の「サンレー小倉南地区センター」。

血縁と地縁を再生し

「血縁と地縁を再生し。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」

心ゆたかな隣人の時代へ

「心ゆたかな隣人の時代へ。高齢者が安心して暮らせる社会をつくるには、地域社会の支え合いが不可欠である。北九州は、高齢者の先進都市として、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。」

45周年記念
おかげさまでサンレーは
45周年を迎えました。

サンレー
北九州小倉北地区上野3丁目2番10号 TEL.093-651-3030

サンレーからのお知らせ
サンレー45周年を記念して
45名様に『隣人の時代』をプレゼント！

タイガーマスク運動から東日本大震災ボランティアへ
助け合いは人類の本能だ！いま、隣人の時代がはじまった！

「隣人の時代」は、地域社会の支え合いの風土がある。この風土を活かして、高齢者の生活を支える社会をつくる必要がある。

サンレー45周年記念対談
株式会社サンレー 代表取締役社長 佐久間 廣和氏 × NPO法人北九州ホームレス支援機構 理事長 奥田 知志氏

サンレー小倉北地区センター
〒802-0022 北九州小倉北地区上野3丁目2番10号
TEL.093-651-3030

単身世帯が増え、人と人との関係が希薄になりつつあると言われている現代日本社会。「無縁社会」という言葉が生まれるなど、無縁化は深刻な社会問題となっています。そんな中、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に、今改めて見直されているのが「縁」と「絆」の大切さです。

そこで、同年11月18日に創立45周年を迎えた株式会社サンレーの佐久間庸和社長と、NPO法人北九州ホームレス支援機構の奥田知志理事長に、これからの日本はどうあるべきか、「縁」と「絆」をキーワードに語り合ってもらいました。

本誌は、「サンレー創立45周年記念対談」として平成23年11月5日の朝日新聞に掲載した見開き全面広告を再編集したものです。